



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース NO-072号 2015年11月25日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館5F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
 http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

秋の組織拡大に奮闘 組合員現在 795人 労働相談に、拡大に、宣伝に、レクリエーションに



CU東京は、現在795人

CU東京は秋の組織拡大に運動に取り組み現在、795人です。各支部のみなさんのご奮闘感謝します。私たちの仕事と暮らしの状況は、安倍内閣の宣伝にも関わらず、賃金の減少、社会保障の全面改悪、物価の上昇、さらに阿部政権の暴走がつづいています。わたしたちの仕事暮らしはより厳しさが増えています。CU東京の役割はますます高まっています。

非正規労働者が4割超え、ワーキングプア史上最高1139万人に

「アベノミクスによって雇用は100万人以上増えた」と安倍首相は主張、しかし、増えているのは賃金が低く身分も不安定な非正規の労働者。雇用者数は121万人増えていますが、中身は非正規が178万人増え、正規が逆に56万人減少です。非正規で働く高齢者も増えていますが、正規労働者の減少は企業側の都合によるもの。企業が非正規を雇用する理由は「賃金の節約」です。年収200万円以下のワーキングプア(働く貧困層)が1140万人近くに達し、2014年は2013年より20万人増えて1139万人2000人になり、史上最高になりました。全労働者に占める割合は24.0%、4人に一人です。貧困層が増えています。安倍内閣は、労働者派遣法の改悪を強行、派遣労働の期間制限を撤廃、「生涯ハケン」「正社員ゼロ」道を開きました。安倍政権の政策は貧困と格差をますます深刻にしています。安倍暴走政治辞めさせようと共同が広がっています。

各支部、組織拡大に、労働相談に、宣伝活動に奮闘

各支部は労働相談、組織拡大、宣伝行動、レクリエーションに奮闘しています。三多摩では100人は「公約」と秋の拡大に奮闘、80人までは目処が立ち、労働相談の力を強くしようと学習会に取り組みました。葛飾では恒例の「なんでも相談会」に共同しとりくみCUかつしかをアピールしています。組合員の交流・親睦のレクリエーションも積極的に取り組まれています。品川ではバーベキュー、文京ではお風呂に入り、京風ダイニングを楽しみました。渋谷はバーベキュー交流会で開きました。

CU東京は早期に1000人突破をめざします

戦争法廃止、労働法制全面改悪阻止など重要な闘いが山積しています。安倍暴走政治に反対する闘いは広がり、前進しています。野党共闘の実現、共同が強く求められています。CU東京は共同のたたかいに奮闘するとともに、この秋の組織拡大を成功させ1000人組合実現をめざします。

地域労組こうとうの組織拡大の経験

地域労組こうとうは、2009年9月19日に31人で結成しました。現在の組合員数は、228人となっています。結成時からみると、6年で7倍になりました。組合員は、一般組合員、協力組合員の2つから構成されています。協力組合員の呼びかけは昨年より始めました。そのため、割合は9：1となっています。

地域労組こうとう結成当初は、寄せられる相談に対して、「相談員の不足」という問題がありました。『相談は必ず複数人で対応すること』また、『できるだけスピーディに対応すること』を鉄則として相談活動をおこなっていく上で、「相談員の不足」は、非常に大きな問題でした。

その問題に対しては、地域労組こうとうから、江東区労連未組織対策委員会へ応援の依頼をおこない、委員応援のもと、労働相談をおこなう上での鉄則を貫きました。同時に、労働相談が解決した組合員へのケアも重要でした。ケアについては、地域労組こうとうの書記長、区労連の事務局次長を中心に対応しました。こうした取り組みの中で、今日までに6つの分会が結成されました。分会結成当初は、地域労組こうとうの役員が頻繁に分会へ足を運び、組合員を励ますとともに、争議の仕方や組合員の権利学習をおこないました。その結果、4つの分会については、均衡のとれた労使関係の中で組合員が生き生きと働いています。

一方で、長期にわたって不当労働行為と闘い続けている分会もあります。分会会議には必ず地域労組こうとうの役員が顔を出し、闘いの方向について議論を深めています。また、組合員にとって、万一のけがや病気に備えた共済も魅力となっています。最後に、地域労組こうとうは、すべての労働者が安心して働ける社会の実現のために、知恵と工夫を持って、運動を発展的に進めていきたいと思えます。

こうとう支部 松井優希記



三多摩で今年中に100人達成は公約です

今年6月28日に三多摩協議会を結成して以来4ヶ月、各団体や組合支部等の協力により、組織数も80人を超す登録までできました。組織拡大を追求しつつ、労働相談への対応、戦争法案阻止や労働法制改悪に反対する宣伝行動、CU東京を知ってもらう立川駅・国立駅宣伝行動を取り組んできました。行動には、常に7~8人の執行部を中心とした協力があり、熱く訴えられました。11月6日の立川駅北口宣伝でも、CU東京ののぼり旗や横断幕が道行く人が注目、「一人でも加入できる組合とは良いですね」等、話しかけられる場もあり、大いにアピール。「三多摩で今年中に100人達成」はいわば公約です。あと20人程度をやり抜き、新年を迎えたいと執行部で意思統一。そのため、再度の組合支部まわりを実施、訪問先2ヶ所から「パンフ500部ほしい」と言われるなど、潜在的な加入者予備軍の広がりを感じています。12月は追い込み。執行部で対象者の名前を出し呼びかける等の対応、既設組合と共同の年末労働相談会などができるよう準備しています。相談も5件、未解決の相談も抱えています。CU東京の存在と機能を高めていくためにも拡大目標を必ず達成していきたい 三多摩協議会 三宅一也記



CUかつしか 葛飾社保協主催 第7回「無料何でも相談会」に

11月19日、葛飾社保協主催第7回「いのち・くらし・雇用 無料 何でも相談会」を、亀有駅前の公園で実施。17団体、44人が参加。弁護士、社会労務士、土建、看護師、保育士、元教員、CUかつしかなど多彩な体制。1時からスタート、時間前から相談者、件数は30件をこえ、CUか

つしかが担当する労働相談には、「新聞折り込みで、個人加盟の労働組合があることを知った・・・20代後半の娘のことで相談したい。」と母親が来ました。「就職が決まらない・・・家から外出しなくなった・・・」とお母さん。「とにかく、娘さんと、お話できれば・・・」とCU東京加入申し込みにリーフを渡しました。年金の相談が多くありました。(相談の写真は一面掲載しました)

ユニオンちよだの活動を地域から！

ユニオンちよだは、この7月の第9回大会後、新体制で活動をしています。事務所も、千代田区労連の事務所が千代田区労協と特殊法人労連とともに新合同事務所（千代田区三崎町2-19-8（JR水道橋西口より徒歩2分））に移転したため、新たな拠点で活動をしています。

前期中に執行部の鈴木さんを中心に、若いみなさんが安心して相談に乗れることをイメージして、ソフトなホームページ<http://unionchiyoda.org/>に更新（元争議で闘っていた組合員の「ユニオンリンクス：<http://unionlinx.blog.fc2.com/>」に依頼）したことにより、相談件数が増えました。

執行委員会や個別の労働相談とは別に、月に一度の宣伝・交流会（金曜日）を行っています。ユニオンの仲間が集まり、手作りのおつまみなどを囲んで交流会（宴）を開いています。最近の相談案件では、嫌がらせによる仕事外しや配置換えからの退職強要というようなケースが増えています。直近の解決事例では、不動産会社からホテルに派遣されている警備員の不払い残業代の支払い要求（深夜時間の残業割増分や休憩時間といっても常にトランシーバーを持たされ、臨戦態勢を維持してきたことなど）に基づく団体交渉と粘り強い折衝により合意を勝ち取ったことです。



また、組合員との関係で出版労連や国公一般とも連携しています。

ユニオンちよだ 香取義和記

雨にも負けず、やりました CU品川バーベキュー交流会

11月15日日曜日に、CU品川支部は大会方針で決めた、交流会を開催しました。大会前に、レクのアンケートを取り、多くの組合員がバーベキューか



バスハイクと答えましたが、執行委員会で区内の大井競馬場近くの中央海浜公園バーベキュー解放区と決め、道具や材料を準備しました。

雨天の場合もあるので、材料を無駄にしないために、雨天の時は大崎の品川労協2階を借りることにしていました。ところが、ズバリあつたてしまい、11時から労協の前の駐車場にシートを張り、そこでバーベキューをやり、焼いたものを2階に運びました。

当初は20名を予定してましたが、組合員15名、労協役員含め、28名も参加、2階はすし詰め状態になりましたが、大いに盛り上がりました。船津委員長のあいさつの後、焼き肉ができるまで自己紹介を行い、交流しました。肉は、組合員の中に肉の加工、卸をしている人がおり、群馬の和牛、豚、生でも食べられるソーセージなどおいしい肉を7キロ弱、提供してもらいました。若い女性の組合員2人は、日ごろおいしい肉を食べられないので、その為に来たと言っていました。差し入れも、日本酒、焼酎、ビール、タレを貰いました。終了近くには、陽も差してきましたが肉、野菜もなくなり、2時に終了することにしました。途中、それぞれの組合員がCUの組合との関わりを述べたり、友人らが組合への期待を話したり、品川労協の役員もCU品川支部の援助をしていくと話してくれました。CU品川支部としても、組合員拡大につながる交流会だと位置づけていたので、今後、組合員を拡大していくことを確認して終了しました。品川支部 書記長 佐藤盛雄記

CU東京の共済が守ります

- 入院共済 4日以上入院を保障 1日5000円
病気・ケガのみに有印保障します
 - 交通災害共済（全労連共済に全員加入です）
入院3000円、通院1000円
- 詳しくはHP、CU東京本部にお訪ねください

CUあだち 第4回総会開く 早急に50人100人の組織に



11月21日（土）第4回CUあだちの総会を13名の参加で東京土建足立支部会館で開きました。7名組合員増で迎えました。第1部で区労連顧問の特定社労士の上野仁さんを講師に学習（前澤さんの「ブラック企業に泣き寝入りしないため…」活用）。組合の結成や加盟、争議等法律で守られていること、時間外賃金の問題や解雇などの対応の基本など学習しました。

引き続き総会議案の報告と討議、月1回の宣伝と全組合員学習会を計画したが4回にとどまり、新年度は、未組織労働者に困った時に気楽に相談できる組合が足立にあることを知らせる事が必要、毎月1回、宣伝めざし区労連とタイアップしすすめる。役員会を月1回行い、相談員を増やすために相談員講座など学習できるようにする。支部を早急に50人100人の組織めざし、それぞれが職場の仲間や近所の友達に声をかけるなど確認しました。区労連大滝議長、CU東京高木書記長があいさつをしました。交流会では、非正規で苦勞してきて正規雇用の職場を探す時に組合の学習会で学んだことが役に立ったと組合の存在を喜んで報告、参加者みんな喜び合いました。

新役員に次の各氏を選出しました。

委員長・中島優次、副委員長・宮下武美、書記長・館幸雄、書記次長・栗原知也、執行委員5人、会計一人、会計監査2人。（書記長 館幸雄記）

■ 今号は秋の組織拡大を中心に構成しました。各支部で旺盛な活動が展開されています。記事を送っていただきました。ありがとうございます。全都でCU東京のノボリが翻り、チラシが配布され、ハンドマイクから呼びかがされています。■組合員の交流を深め、懇親のレクリエーションも活発です。CU東京の広がりが記事から伝わります。

CU渋谷 毎月1回宣伝 この間3回、のべ23人が28カ所で訴え

（区労連ニュースから 11月11日 抜粋です）

渋谷区労連の秋の拡大月間は、11～12月、5%60人の目標です。区労連のこの5年間は、マイナスが10組合101人、プラスがCU渋谷で100人とほぼ現状を維持。目標達成に見合った行動は現実から遠く、CU渋谷がとりくんできた未組織地域宣伝を毎月1回区労連として行うことにしました。第1回の9月6日は、宣伝の前に、実践学習「どうしたら心に響く訴えができるか」を青年劇場の俳優さんを講師に、講義とともに、発声、顔の筋トレ、体幹・呼吸・姿勢のためのストレッチなどで自信をつけ、特に若手の2人が堂々と訴えました。この間3回、のべ23人が28カ所で訴え、約700枚の加入案内を配布しました。10月に入って、田中区労連議長の「拡大月間の訴え」を出し、西部ブロックで作製した「最低時給1500円」ポスターを地域や組織内に張り出しました。11月18日には、未加入組合などへのオルグ活動を実施。CU渋谷は、CU渋谷3周年記念「人間らしく働きたい！はげまし、たたかう渋谷集会」の実行委員会にとりくみ、昨年たたかう労働者をはげますCD「ボクたちの宣言」の普及や未組織労働者に光当てる運動を広げ、すべてのたたかう労働者をはげますこと。人間らしく働くことを自分の事として考えられるものにと話し合っています。11月8日、CU渋谷の「大バーベキュー交流会」には16人が参加、あいにくの雨でしたが、CUの行事に新たに6人の若者が参加、うち4人が協力組合員の対象者として加入を訴えました。拡大成果はまだ1人ですが、12月までの目標25人達成をめざしています。

